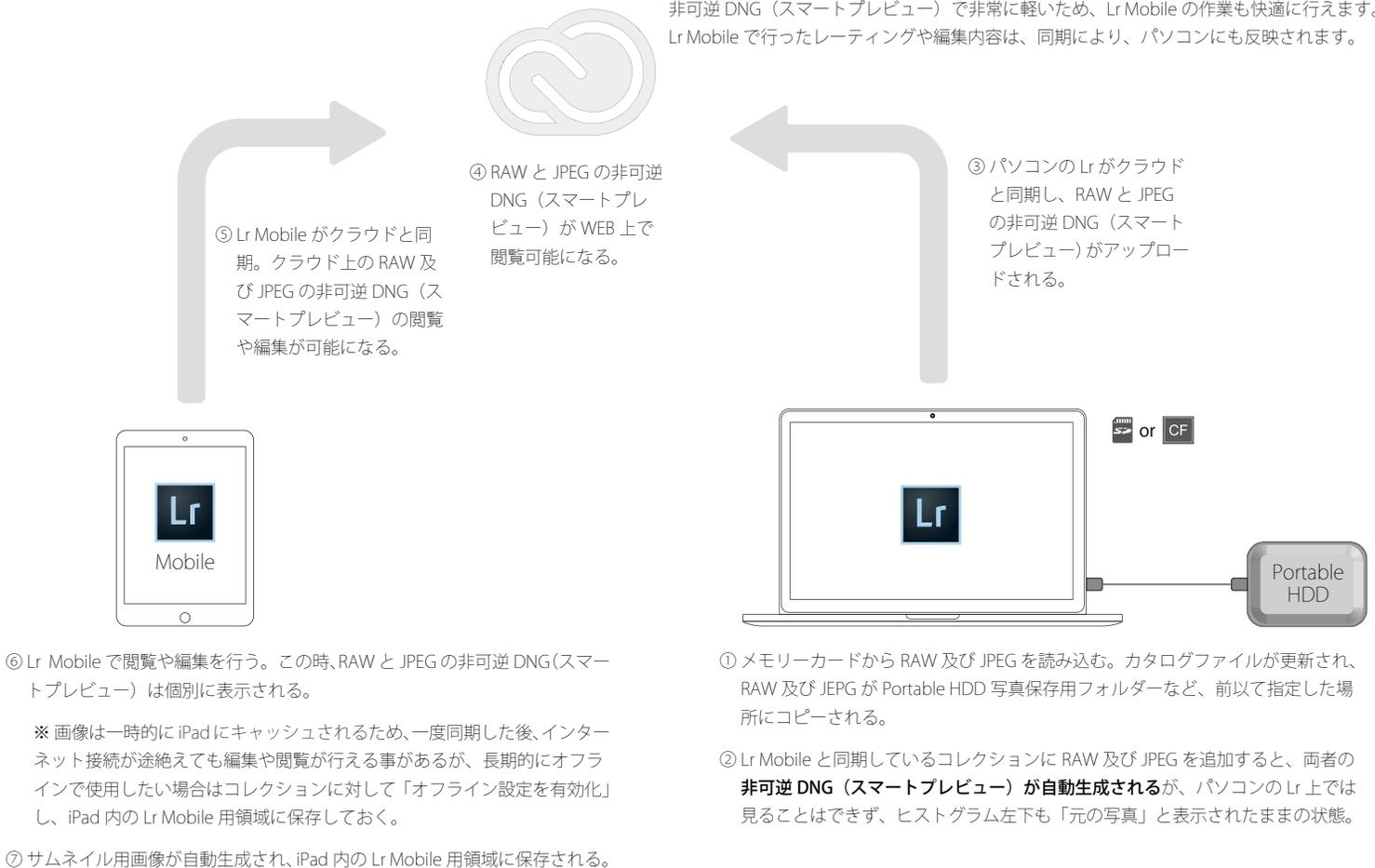


## ケース 1:

### RAW+JPEG 画像を最初にパソコンに読み込む

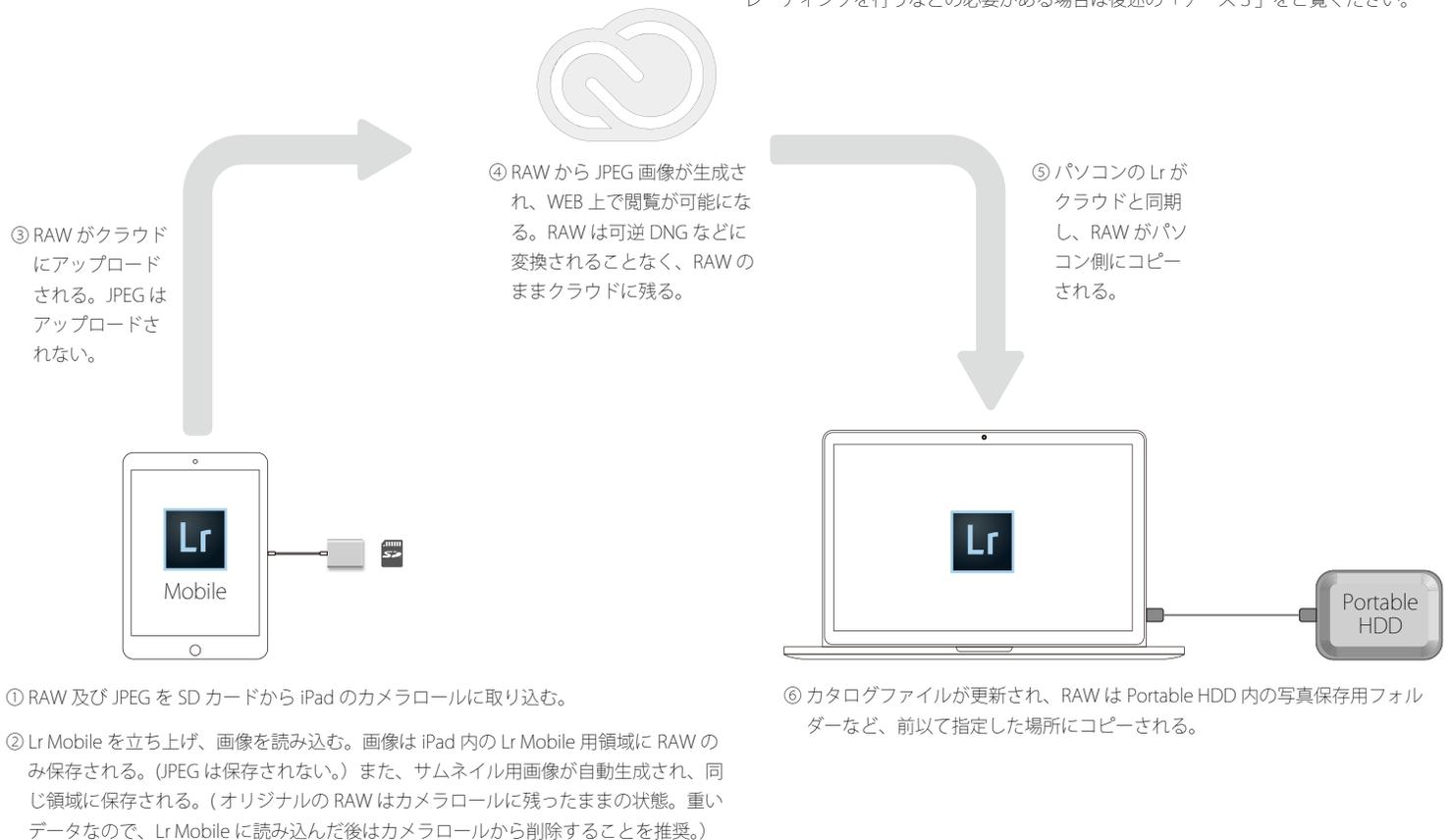
これが、オリジナルの使用例です。クラウド上に非可逆 DNG がアップされ、Lr Mobile はそれ  
にアクセスすることで、iPad 上での画像の閲覧や編集ができるようになります。また、画像  
を iPad の Lr Mobile 用領域に保存して、オフラインで使用することも可能。ファイル形式が  
非可逆 DNG (スマートプレビュー) で非常に軽いため、Lr Mobile の作業も快適に行えます。  
Lr Mobile で行ったレーティングや編集内容は、同期により、パソコンにも反映されます。



## ケース 2:

### RAW+JPEG 画像を iPad に取り込み、Lr Mobile に読み込む

この使用例は iPad 内の Lr Mobile 用領域やクラウドに RAW がそのまま残り、ストレージ容量を消費してしまうためお勧めしていません。撮影旅行の帰りの電車内で写真のレーティングを行うなどの必要がある場合は後述の「ケース 3」をご覧ください。



### ケース 3:

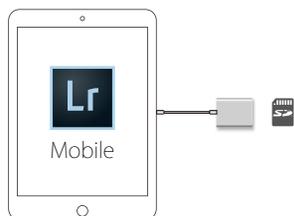
## JPEG 画像のみ iPad に取り込んで、Lr Mobile に読み込む RAW はパソコンで読み込む

この使用例は少々煩雑に見えますが、使いこなせるようになると大変便利です。撮影の直後に JPEG 画像を iPad に取り込み、移動時間などを使って Lr Mobile でレーティング（「採用」と「除外」のフラグ付け）をしておきます。自宅に戻った際には RAW 画像をパソコンに読み込みます。同期により、JPEG 画像とそのレーティング情報はパソコンに取り込まれますから、グリッド表示では RAW の隣に JPEG が表示されます。そこで JPEG から RAW に「採用」フラグと「除外」フラグをコピー。作業工程がひとつ済んだ状態で自宅での作業が行えるわけです。

なお、このケースでは、メモリーカードが 2 スロット（例：SD カード x 2 もしくは CF x 1 & SD カード x 1）あるカメラが必要になり、一つのスロット（SD カード）は JPEG のみ、もう一つのスロットは RAW のみを記録するよう設定しておきます。

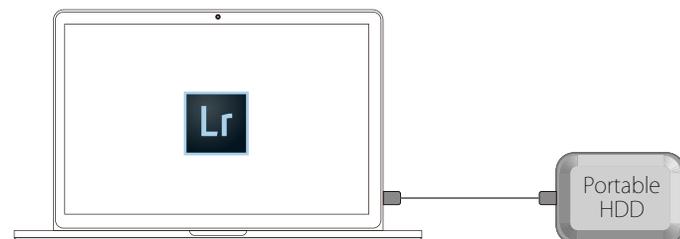


③ JPEG とそのレーティング情報がクラウドにアップロードされる。



④ JPEG 画像が WEB 上で閲覧可能になる。レーティング情報も確認できる。

⑤ パソコンの Lr がクラウドと同期し、JPEG がパソコン側にコピーされる。



① JPEG のみが記録された SD カードをアダプターに挿入し、iPad のカメラロールに取り込む。

② Lr Mobile を立ち上げ、JPEG を読み込む。画像は iPad 内の Lr Mobile 用領域に保存される。また、サムネイル用画像が自動生成され、同じ領域に保存される。（オリジナルの JPEG はカメラロールに残ったままの状態なので不要であれば削除しておく。）

③ Lr Mobile でレーティング（「採用」と「除外」のフラグ付け）などを行う。

⑥ カタログファイルが更新され、JPEG は Portable HDD 写真保存用フォルダーなど、前以て指定した場所にコピーされる。

### 続き

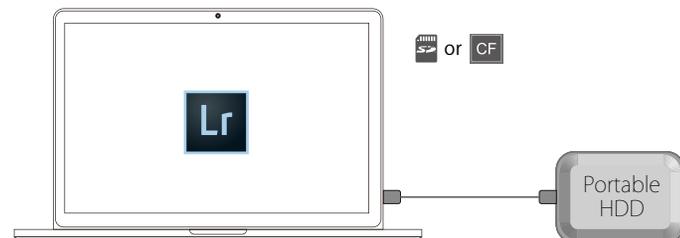


⑩ クラウドと同期。クラウド上の非可逆 DNG（RAW のスマートプレビュー）の閲覧や編集が可能になる。



⑪ 上記④の JPEG 画像に加え、非可逆 DNG（RAW のスマートプレビュー）も WEB 上で閲覧可能になる。非可逆 DNG にもレーティング情報が付加された状態。

⑩ パソコンの Lr がクラウドとつながると、Lr が RAW の非可逆 DNG（RAW のスマートプレビュー）を自動生成し、アップロードする。



⑬ Lr Mobile で閲覧や、必要に応じて編集を行う。この時、非可逆 DNG（RAW のスマートプレビュー）と JPEG は個別に表示される。（行った編集は、同期することで、パソコンの Lr にも反映される。）

※ 画像は一時的に iPad にキャッシュされるため、一度同期した後、インターネット接続が途絶えても編集や閲覧が行える事があるが、長期的にオフラインで使用したい場合はコレクションに対して「オフライン設定を有効化」し、iPad 内の Lr Mobile 用領域に保存しておく。

⑭ サムネイル用画像が自動生成され、iPad 内の Lr Mobile 用領域に保存される。

⑦ RAW のみが記録されたメモリーカードをパソコンに挿入し、RAW を Lr に読み込む。

⑧ グリッド表示にすると JPEG と RAW が隣り合わせに表示される。

⑨ JPEG のレーティング情報を RAW にコピーする。

※ この際、Syncomatic というプラグイン（約 1500 円）を使用すると全ての JPEG 画像のレーティング情報をまとめて RAW 画像にコピーできる。